

1. 件名：荒浜側焼却設備スラッジ脱水機改造工事運転性能試験における不具合事象の対策及び工事計画に関する対応方針に係る面談（柏崎刈羽1号機）

2. 日時：令和3年8月26日 10時45分～11時45分

3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室

4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

齋藤企画調査官、建部主任安全審査官、岩崎安全審査官、照井安全審査官、藤田審査チーム員、中村原子力規制専門員

事業者：

東京電力ホールディングス株式会社 柏崎刈羽原子力発電所

第二保全部 環境施設プロジェクトグループマネージャー 他6名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 配付資料

- ・ 柏崎刈羽原子力発電所第1号機 荒浜側焼却設備スラッジ脱水機改造工事運転性能試験における不具合事象の対策ならびに工事計画に関する対応方針について
- ・ 柏崎刈羽原子力発電所第1号機 放射性廃棄物の廃棄施設固体廃棄物処理設備廃スラッジ系荒浜側焼却設備スラッジ脱水機改造工事 工事概要説明書
- ・ 柏崎刈羽原子力発電所第1号機 荒浜側焼却設備スラッジ脱水機改造工事 「スラッジ脱水機」および「スラッジ一時受ホッパ」における想定外箇所への脱水樹脂混入事象発生について

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	はい。原子力規制庁のテルイです。それでは本日の面談を開始したいと思います。早速ですが説明をお願いします。
0:00:09	はい、東電のフジマルでございます。本日はよろしくお願ひいたしますまず資料の確認からさせていただきます。本日の資料としては本件用意してございます。ヒロー番としまして、右肩に本日の粒径 26 日付の、
0:00:28	いや入っておりますもので柏崎刈羽原子力発電所第 1 号機山側焼却設備津波座席改造工事、運転性能試験における不具合事象の大学並びに工事計画に関する対応方針について、これが 1 点目でございます。
0:00:42	また何ぼとしまして本件おそらく出す機会も工事の工事計画の届け出をさせていただいたときの説明資料、こちらの部分になっていただきました。
0:00:53	年齢 28 年 1 月 13 日付の資料でございます。三番保険本件に関してですねトラブル発生通りに今日長官の方にも御説明させていただいております。2020 年 1 月 27 日の日付でクレジットが入れているものをこちらでは、
0:01:12	土曜日の方々の疲労となりますが、こちらもそれを見て参照しながら御説明をさせていただければと。
0:01:20	思います。
0:01:21	ナカムラますけれども、当面、今回のねずみ 600 設備フラグが追記の会合につきましては、平成 28 年、2016 年 1 月に計画の届け出をさせていただいております。後備着手いたしまして、工事並びに検査ツツミたんですけれども、
0:01:40	2019 年ののをですね、2 階と下部も途中で初めてみるトラブルがあっただきまして、その対象が検索したら一番検査で関連しておったんですけれども、一番ベターなど逆に入る前の試運転で高くなってるということで、どこを中断しております。
0:02:00	その際に、前検査の示させていただいております。その後原料対策まとめましたので、本日この対策の概要及び制度海のほうに計画の影響について別名を申し上げるものでございます。
0:02:18	それでは、具体的な説明に入りたいと思います。
0:02:22	発電機のほうから説明を始めます。
0:02:26	お疲れ様です。私加世田刈羽原子力発電所の環境施設プロジェクトグループのマネージャーをやってますイノグチと申します。本日はお忙しい中、場を設けていただき、ありがとうございます。
0:02:42	これからの御説明はですね、担当の方のアオヤギの方から
0:02:52	はい、それでは受け電力会社から原子力発電所のアオヤギのほうから資料のほうで説明させていただきたいと思います。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:03:01	まず本題の資料の一番に入る前にですね、参考としてお渡しさせていただいております。工事計画の届け出した際の資料、②番のほうから説明させていただきまして、本工事の概要というところから説明させていただきたいと思っております。
0:03:20	それでは平成 28 年 1 月 13 日付の資料をめくっていただきまして、一番の個人海洋からご確認いただきたいと思いますが、まず、本工事営農設備につきましては、重ね書き刈羽原子力発電所の
0:03:35	使用済み樹脂こちら焼結するための設備。
0:03:40	こちらの使用済み樹脂につきましては、1 から 4 号機で発生する樹脂は皆発電所の南側に設置されております焼却設備で償却することとなっておりますので、今回の工事計画を届け出してる設備につきましては、1 から 4 号機からあって、
0:03:58	しゃべる見て実用償却するための
0:04:02	前段階の処理を実施する設備ということで、
0:04:06	こちらの改造工事を実施することとなった経緯、経緯でございますが、こちらで推定手首今設置から 25 年という経過年数が経過したため、さらなる償却効率の改善というところを目的に、
0:04:23	やっぱり一定の向上が期待できる型式への変更というところで考えまして、経企の型式変更というところ
0:04:36	幾らって脱水
0:04:37	新たな型式への取替とそれに伴う系統構成の変更というところ工事計画を届け出させていただきました。
0:04:46	2 番に変更の工事の内容を記載させていただいているんですが、
0:04:51	づきテクノ廃スラッジ系の配管のほう、一部変更という形で実施する工事、またそれに伴って市配管の一部を廃止する工事、
0:05:00	先ほどから申しておりますが、田地脱水機のほうの型式をロック式であったものを遠心分離機に変更する工事
0:05:09	またこれに伴いまして、新規にクラッチ位置付け国家というものを
0:05:15	こちらの 4 項目に対しての工事計画のほうとだけ書かせていただいて、
0:05:21	冷やせの方が岩盤に書いてございますが、1 から 4 号機のうちの 3 号機の使用済み樹脂槽のほうがええ貯蔵量のほうひっ迫へ獨協が減って、
0:05:33	こちらの
0:05:35	一泊状況改善するためにですね、
0:05:38	計画的な取りかえというところを検討を計画して、
0:05:44	床とか、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:47	昨今のNTA計画で3号機のほうは、できるだけ現在伸びておりまして、じゃあ済み樹脂の発生状況というところが、この当時よりも若干余裕があるところがございますので、現状、現時点での交付金になっておりますが、
0:06:04	現在まだ若干の余裕がある形で、
0:06:08	4番以降に届け出汎用させていただいておりますが、4番が、
0:06:14	こちらは、発電用原子炉不足っていうの
0:06:18	届け出に対しての届け出内容を記載させていただいております。
0:06:23	さて廃棄物の廃棄施設のうち、気体液体または固体廃棄物処理設備として、こちらの廃スラッジ系の市販化または使用機器としてフランジだって生きた人事
0:06:34	こちらのほうの工事
0:06:38	5番に行きました電離本の届け出に対してのあげようか聞きたい。
0:06:44	今ではどういもないように誤開ます。
0:06:50	本事故点つきました現在変更となっております。
0:06:55	簡単に添付資料のほうの説明をさせていただき
0:07:00	1と右上の方に記載のある資料へ変更内容の説明のほうをご覧いただきたい。
0:07:08	まず左側が変更前の工事の
0:07:13	工事の前の変更前ですね系統で期待してございます。こちら見方になりました各フロー線の範囲が工事計画の届け出をする対象範囲となっておりますので、注配管と主要機器が太線で表せ落差が分かれております。
0:07:33	はい。
0:07:34	その右側に変更後の系統上期待しておりますが、
0:07:38	青い矢印と青い雲枠で囲んでいるところ、こちらが今回のこの改造工事において変更の
0:07:47	していただいている範囲であって、
0:07:50	変更後の図面で言いますと、選び出すべきというのが①番で確保でございませうが、こちらの方をしていて、
0:07:59	また、このフランジ脱水機の下流側、下流側にも、この脱水、
0:08:06	左側といいますかこの三角形なっなって下流に繋がってる川です。
0:08:13	こちらのほうに、②番のほうに繋がるんだからこの②番フラジリティ抜けホッパ一というものを新設してございます。こちらは脱水した使用済み樹脂の方を一時的にこちらの位置付けホッパーで
0:08:28	受けまして一定量賜りまして、さらに下流へ排出するというような系統構成になっておりますので、一時的な貯蔵するための機器を

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:41	③番で、主配管の
0:08:45	絵になっておりますが、こちらは、
0:08:48	変更前の配管につきました配管口径が 50Aのみの配管で構成
0:08:56	変更後の工事計画においてはですね、系統構成として、配管内の流速を確保するために 20Aの配管を追加。
0:09:05	になっております。当然 20 ウエノ配管の追加というところが、はい。
0:09:11	④番につきましたは、こちらは系統設計と構成の変更に伴いまして、主配管を廃止しております。こちらの排気管④番というのは変更前のほうの図面にテルイされているんですが、変更前のPRAで脱水機から
0:09:28	フランジタンクに戻るラインがございましたが、こちらは変更後において、販売しませんので、廃止という形になっていく。
0:09:40	5 番 6 番 7 番、こちら工事計画の届け出の対象外ではあるんですが、今回の系統構成の変更に伴いまして、スラジ
0:09:49	というものをまたフランジ部。
0:09:53	新設してございます。
0:09:56	まして⑦番のAの配管というところを新設をする工事っていうところですよ。
0:10:02	おります。
0:10:04	こちらの添付資料 1 の次のページ以降ですね工事計画届け出についております要目表のほうで策定いただいております。
0:10:16	まず、右から 22 ページと書かれているものが主配管が要目表になっておりますが、先ほども含めていただきましたが、変更後におきましては 20 ウエノは
0:10:27	い。
0:10:27	1 カップルへ変更して、
0:10:32	また、次のページに移りまして、半ページになりますが、こちらがフランジ座席の
0:10:38	要目表になっておりまして、変更前は 6 月期の裏でやっていきのほうの機会がございましたが、これに対しまして今回型式を変更いたしますので、遠心分離機のが時脱水機としてそれぞれ主要国
0:10:53	また言動機関
0:10:55	情報をこちら
0:10:58	次のページ 4 ページに移りますが、
0:11:01	新たにクラッチ位置付けホッパーえつとなります。
0:11:06	現行法に新設されたフラジリティホッパーの
0:11:10	種類容量主要寸法材料、
0:11:13	出してね、こちらのほうを記載した工事計画のほう届ける発生。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:20	以上がこちらとして私たち、
0:11:24	によりまして工事概要の説明になります。
0:11:27	続きまして、今回の説明に
0:11:31	あって、不具合に支障のない様のほうでに説明させていただきたいと思いますので、お渡しした資料の三番の資料 2. 20 年 1 月 27 日付の資料の方。
0:11:50	こちらの資料、
0:11:52	まず一番発生のセッションの概要から説明させていただきますが、冒頭おっしゃったフジマルの方からも説明ございましたが、こちらの改良工事につきましては、2. 19 年の 5 月 20 管理規程に 1 号使用前検査の受検完了まで
0:12:08	進んでおりました。2020 年の 2 月 4 日フジタに保護者検査の受検というところが決まっております、これに向けた
0:12:20	なっております。
0:12:21	この中で、2020 年 1 月の試験中にですね、脱水設備上、また裏付け閉塞という抵抗が発生したため、試験のほう中断しております。
0:12:33	原因調査のために、ランダム的と位置付けを一般の方、内部確認しましたところ、こちら、
0:12:42	もってしない箇所へですね、溢水樹脂の本流が発見されたというのが昨年 1 月の状況になってございます。
0:12:51	エラー
0:12:53	添付資料のほうで説明させていただきたいと思いますので、本資料もホームページ番号 9 分の 4 をご覧いただきたいと。
0:13:07	9 分の 4 に、当時の試験の範囲の系統構成を聞かせていただいておりますが、
0:13:15	まず、こちらでラッチタンクの中に模擬廃液のほうを充填しておりましたが、こちらをこの黄色く塗ったラインで廃液のほうに移送しております、
0:13:28	右上のフランジ供給ポンプという黄緑色に示している部分の反映点樹脂の供給をしまして、このフラジリティ供給ポンプが起動または停止を繰り返すことで、右側の赤色になっておりますしアディダス的に
0:13:44	模擬廃液を供給し、また定修というところを繰り返して脱水機の性能確認するというな視点を実施し、
0:13:55	ダツ正規の方は受け入れた模擬廃液を脱水処理いたしまして、ピンク色になっています方が樹脂が入るよほう方の流れになっておりますが、こちらがフランジ
0:14:12	何重視の配賦。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:14	また、水色になっている方が模擬廃液からずっと水を分離した後の水側のほうの範囲
0:14:23	水色のラインで一時デイトンクまで水道の水をこちらに排出して、
0:14:31	そういった試験を実施しておりました。この中で、先ほども説明しました傾向に種類が発生しまして、内部の確認のほうで、
0:14:43	次のページっていうの 5 ページに、
0:14:46	Fって行って、
0:14:50	当然の発生状況の方。
0:14:53	示して、
0:14:55	それがフラジリティ達成域内の発生。
0:14:59	大事な堰につきましては、
0:15:01	人便利した水に分ける設備になっておりまして、右側にFについてながら
0:15:08	左側に脱水の樹脂がへ流れるような構成となってますって間の空間には基本的には水も図示も
0:15:17	入り込まないというような設計とか、
0:15:20	Fが当時のこの不具合が発生した際にはこの中間の間の負荷に都市が購入しているということが確認されております。
0:15:32	次のページに移りまして、9 分の 6 に移らせていただきますが、こちらはアジア的に下流にあります自律的法案の状況写真を示しております。
0:15:45	こちらにつきましては、開口点検した範囲ですね、この手当地形ホッパーのベントラインに枝性樹脂が入り込んで、配管の閉塞を半分の機器程度継続しているということが確認できました。
0:16:00	こういった事象が確認できましたので、
0:16:04	当然で予定しておりました 5 号使用前検査というところは延期の手続きを取らせていただきまして、原因の調査と対策の立案というところを検討させていただくという形で、今年の 1 月。
0:16:19	ほかにありました。本日につきましては、こちらの対策を行ったと、今後の計画が立ちましたので、その辺ご説明させて
0:16:30	と。思。って。
0:16:32	以上で参考資料のほうの説明を終わりますので、一番の資料もセット目に入らせていただき
0:16:42	資料は、
0:16:43	資料の右上に 2 点、21 年 8 月 26 日と記載されている資料はしまして、説明のほうに、
0:16:51	入らせていただきます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:54	また発生事象の概要につきまして、液体させていただいておりますが、こちら今ほど説明した資料の班の体系に近い形になっております。
0:17:04	割愛させていただきたいと思いますが、
0:17:08	資料3の小学校北ことによって、原因究明並びに武人実施していたというものをここで、
0:17:19	2番の不具合発生状況及び対策についての説明に入り、
0:17:27	運転中及びこちらの状況確認において確認いただく具合というものを表-1に示しておりますが、この位置は次のページまで増えておりまして、全部で五つの結果発生を確認。
0:17:43	しております。これに対してに對しましてそれぞれ、海脚の法理一貫しております、
0:17:50	こちらの内容をより詳細に記載しているのが添付資料になりますので、添付資料のほうをご覧くださいながら説明させて、
0:18:00	思っておりますので、
0:18:05	まず、添付資料の1から説明させていただきたいと思っておりますので、
0:18:10	資料として下に1分の1とやられてある継続をご覧くださいと思う。
0:18:18	こちらは先ほども説明しました。運転性能試験の色塗りず若干色も変更しておりますが、いろんな水になっており、
0:18:27	この中で丸藤で困っている部分が今回の不具合調査をした中で、3日ぐらいか。
0:18:38	選び出す域において、2番三番の仁賀保
0:18:41	またそれらに位置付けほかにおいては、一番4番、5番の3ヶ所の不具合が確認されている。
0:18:49	これ、この5ヶ所にそれぞれ
0:18:52	こういった
0:18:54	添付資料の2番に
0:18:56	振り回してこちらで対策のほうの説明をさせていただきたいと思いますが、
0:19:01	2分の1からFメーターさせていただきたいと思っております。
0:19:05	まずこちらの不具合事象、一番の不具合事象になりますが、こちらは位置付けもファンネル立地の検知による地形ととくの警報が発報したということで、今回の不具合事象の発端になっておりますフランジ傾向。
0:19:21	計画の策定にこちらに、
0:19:25	出しております。
0:19:27	原因としましては、今回の現状、現場に取り付けておりますけれど、スイッチこちら実施。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:35	違う確定していたというところがわかっておりまして、こちらに、
0:19:41	いったぜひ取り除いていくと、現地状態から見て日常的に切り換え、
0:19:47	沼津市の負担
0:19:51	挙げられております。
0:19:54	なりますが、
0:19:55	現状のレベルスイッチなんです、こちらもぜひの付着というところに対しまして、
0:20:02	あまり
0:20:04	できて、
0:20:06	いうふうを考えて、
0:20:08	そして、レベル1の変更。
0:20:11	挙げております。
0:20:13	こちらの記載にあります、気体のような状態になってもですね交付クエンチしないという所モックアップの試験で確認しておりますので、新たに採用するレベル1については、
0:20:25	こちらの変更で会社化取れると考えて、
0:20:31	続いて②番、今度は脱水機側の
0:20:34	それぐらいの状況について、
0:20:37	もう
0:20:38	運転の際の警報発報というところも脱水設備上に繋がっているぐらいになっておりますが、こちら試運転中に達する域にあります作動機が過負荷によってだと
0:20:52	入った時供給脱水異常という警報が発報したことによって、
0:20:59	しているというのがあって、
0:21:02	原因調査の内容になりますが、こちらは作動間いと駆動機というものが脱水機がございまして、
0:21:12	下の行見ていただきますと、
0:21:15	廃棄の府がされておりますが、
0:21:19	まず、左側に、駆動機の発生連動規定ものが増えて、
0:21:24	こちらが脱水機何やりますとコラムというものをFの真ん中で会いに矢印が飛んでおりますが、
0:21:36	またこの図の右側、赤い四角で囲んでおりますが、同期の電動機っていうものもありまして、こちらの可動機器がこのドラムの中にあります直流を回転させるためについている。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:50	ダツ定期の原理としましては、このフォーラムとスクリューを回転させましてドラム回転による遠心力で実質受診の層と水野層に分けて、エスクリが実施の方法だけを吸い出して、
0:22:06	人水に分けるといようなDBとなって、
0:22:09	今回の不具合の原因としましては、この福利の方が過負荷になって保育したというのが原因となっております、
0:22:20	試験の範囲の設定値。
0:22:24	もし運転中の地震の供給濃度の増加というところに出して連動できると設定値ではなく、
0:22:34	も含め、
0:22:38	なので開拓になります、
0:22:41	この調査結果
0:22:44	今ありますので、一定値から新たな
0:22:48	ものでモックアップ試験の方、
0:22:52	表のような安定自体が出ることを確認しておりますので、
0:23:05	次のページに、
0:23:08	いや、
0:23:09	エラーバー。
0:23:10	三番だ正規選り出す堰の外になります、中間空間に樹脂が混入したことに 対する具合調査内容、結果、
0:23:23	こちらは原因ないような調査内容原因の中で図面を示させていただいてお りますが、フランジ脱水機、こちら、運転中に常時時空系のシールエアが入り込 む。
0:23:38	系統構成となって、
0:23:41	こちらのシールエアが入りますと、フランジ座席ない若干制約側になります、 この
0:23:49	流れ込んでくるシールやむ得ましたよ。
0:23:52	当社の設計では無理がはい。
0:23:57	見ながられることを想定しておりましたが、パブリック性は一旦のほうの圧力が このCBやによって上昇してしまったことから、中間空間にCv青少押し流してし まったことが考えられております。
0:24:12	この水位なくシールや品川区単位です、ね分類に含まれる若干の図示という ところも一緒に
0:24:23	この流れっていう点
0:24:25	ちょっと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:27	明日ので。
0:24:33	こちらにつきましては対策のほうに図面を
0:24:36	量の設定おりますが、上に正配管のほうに、
0:24:40	規約スポットというものを設けましてベント配管を設ける形で考えており、
0:24:47	このピックアップぽつと設けることで、
0:24:50	2. 配管内の圧力上昇。
0:24:57	圧力バランスを崩れるアプリ配ってくれることを抑制することを目的に、こちらのポンプ、
0:25:08	はい。
0:25:09	考え。
0:25:12	204 番の位置付けほかのベントノズルに収支が入り込んでいることにつきましての原因調査対策。
0:25:20	になります、
0:25:22	調査内容としましては再現確認の方法について、
0:25:26	こちらへ樹脂が、
0:25:30	やはり脱水機上部に設置されておりますが、設計から下部の 1 次系ホッパーに投下されるっていうところで、
0:25:39	10 日。
0:25:40	お通夜NP、
0:25:42	すでに弁当屋に
0:25:43	この統括の時価巻き込まれてしまうというところで、
0:25:50	この対策になります、この連帯案に巻き込まれてしまう事象の
0:25:57	根本的になっているということが対策、
0:26:03	ベント配管を改造して、これより下流側に樹脂の流出が増えることのないような対策をとることで考えて、
0:26:11	まず初めにベントのフルに別紙のほうがたまってきますので、こちらは、
0:26:17	こちらの脱水の運転停止に 1 回児童生徒機構というものを設けまして、位置付け国家が没水戻すて実施を
0:26:30	さらになつたらはかりに行かないように清掃できるような機構を増設したい。
0:26:37	また、このペーパー聞こえるキャリア側にですね、フィルターを
0:26:41	それで、さらなるばかりである半期
0:26:46	投資したいと。
0:26:48	考えておりますエアフィルタ別に伴いまして、モデルの口径
0:26:53	52 であります、100 円のほうへ拡大する。
0:26:57	ところを考え、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:00	次に、
0:27:02	資料のほうに分の3ページに、
0:27:05	五つ目の不具合内容になって、
0:27:08	こちらへモックアップ試験のほうを実施していく中で確認かったですよねとなって おりました、
0:27:15	一方で、
0:27:16	だからなる下流の拉致供給器へ排出する単位起きた。
0:27:23	顛末自身の方がね。
0:27:27	はい。
0:27:30	確認されます。
0:27:34	で、
0:27:35	まず、こちらの方。
0:27:39	形状が大きく固まったものとなってしまうと廃されない。はい、それについて、
0:27:47	また、
0:27:48	こちらの位置付け、
0:27:51	内面の話になります。
0:27:54	Guide系というものと思うからになり、伸縮継ぎ手というものがほぼ設備として ありますが、こちらの内径が
0:28:05	他もぐらいより狭い形になって、
0:28:10	内警察という
0:28:12	はい。
0:28:15	こちらの檀さんにこちらのほうだ。
0:28:19	のっかって、
0:28:23	また下のほうの図になります。
0:28:29	今、
0:28:31	発生した。
0:28:33	棚上げ下流へ排出できないというようなところが、
0:28:38	こちらの原因。
0:28:40	或いはスラジ供給機能の背景
0:28:43	ということで、
0:28:44	いや、ないことで、下に動けません。
0:28:49	確認できて、
0:28:51	スラジ教育
0:28:53	病院が存在しないものと現状なっておりますので、空気の動きがないことでこ のようなでしょ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:01	いうところを減額と
0:29:04	それぞれに対策のほうへ上げておりますが、まず上段の対策としましては、
0:29:10	段差が判明しておりますプライドゲート並びに伸縮継ぎ手、こちらにつきましては、
0:29:18	TTKほかの主要部材と同様の内径のものに改良品として取りかえを 100 とし て、
0:29:25	下段の対策になりますが、拉致供給器にベントラインがないことが原因で挙げ てある挙げられておりますので、
0:29:35	機器のレベル 1 のラインを利用しまして、
0:29:40	こちらにベント内容でETFてることを考えておりまして、時支配率時の空気の 流れを容易にするというところ。
0:29:49	対策として考えて、
0:29:53	以上が不具合発生状況及び対策になっておりまして、資料の本文に戻らせて いただきますが、
0:30:02	3 分の 1 ページの 2 番の日程
0:30:05	いいですか。
0:30:10	今説明しました対策をとる上で、すでに届け出を書かせていただいております 工事計画にどのような影響、
0:30:19	御説明
0:30:23	イヤホンコードにつきましては、
0:30:26	2016 年
0:30:29	また、この 2016 円磨には一部補正の届け出というところでは、
0:30:38	に届け出させていただいた資料の内容に含めない。
0:30:43	結果を表にまとめさせて、
0:30:47	今後、
0:30:51	表 2 に弁償的な表が結果を
0:30:57	添付資料の
0:31:00	をご覧くださいますと、当該の対象設備の変更箇所、また影響箇所というところ を示しておりますので、
0:31:10	添付資料の 3 をご覧いただきながら、私のほうで、
0:31:18	思っています。
0:31:20	添付資料 3 分の 1 か。
0:31:23	ご覧。
0:31:28	添付資料 3、
0:31:30	半部の 1 ページ、こちらは、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:35	要目表の
0:31:36	主配管の要目表を示しております。今回、
0:31:44	時間に影響がある。
0:31:46	要は計画
0:31:50	ここはないと考えると、
0:31:54	また、次の3分の2ページに移りますが、
0:31:57	こちらはスラッジ座席の要目表を聞きたいか。
0:32:02	拉致脱水機の変更後に上げられております。腫瘍健康材料原動機のところに対します
0:32:11	いわゆる回答で、
0:32:13	モンマ
0:32:16	はい。
0:32:18	3分の3ページに、
0:32:21	フラジリティ位置付けホッパーの法人の要目表、
0:32:25	駅から
0:32:27	→
0:32:28	としましては、工事計画で届け出ていただいて記載の項目が、
0:32:33	よい容量主要寸法、加力歩数となっております、今回対策におきまして、自治
0:32:42	デザイン義務に対しまして回答のほうを加える形になりますが、こちらの工事の要目表に記載になっております。班員につきまして、
0:32:53	変更が生じる回答ではございませんので、4億円の記載に変更なしと来ていて、
0:33:02	次に款分の4ページに移りますが、
0:33:05	こちらが、
0:33:07	工事計画添付書類のほうの中身になってきております。
0:33:12	5-5-1として届け設備に関わる
0:33:16	耐震設計の基本方針が挙げられております。
0:33:19	この中の半ページに行った時位置付けホッパーの概略構造図が当然する資料となっております。こちらの構造対策後の部分と立ち返る必要がございますので、左側が現状届け出政府工事計画
0:33:35	書類の内容、右側が今回の対策。
0:33:40	ことによる変更内容となっております、
0:33:45	ご覧の通り、
0:33:46	時この古いか排気ラインの変更というところが変更に掲げられます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:54	今回このOWTF変更となりますが、耐震設計の基本。
0:33:59	基本方針自体の変更というところが伴います。
0:34:10	4-5 ページに移らせていただき
0:34:13	こちら添付書類のその後の 2-2。
0:34:23	続き他の形状が登場いたしますので、こちらを変更する必要が
0:34:29	こちら成層機構の追加、はい。
0:34:35	こちら、
0:34:37	基本設計方針の
0:34:39	基本方針の内容になっておりまして、代表の表示ですとか片方向の
0:34:48	希望の説明の図面となっておりますので、
0:34:51	はい。
0:34:53	主なものではないということで考えておりますので、影響評価としましては、
0:35:00	いや、
0:35:03	また、3分の6 ページ
0:35:07	こちらものの方の方ということで、拉致位置付けホッパーの対して、
0:35:12	計算書に登場する計算書類になって、
0:35:16	この中で、機械の部分に行きまして、うちの変更、こちらは、質量及び九州
0:35:26	ほかにございますので、機械の富士に変更する量がこうだ今。
0:35:32	こちらの期待にフチではい計算した結果、
0:35:36	この内容の
0:35:38	未
0:35:39	結論少々見づらくて。
0:35:42	ところに機械化
0:35:46	搬出応力のところが現行法の
0:35:50	結果、
0:35:51	許容応力に対しまして十分下回っていることを確認できておりますので、
0:35:57	こちら届ける組の方で計画
0:36:06	次に、
0:36:08	何遍も 7 ページにPlus
0:36:11	寺尾。
0:36:13	僕が 8-2。
0:36:16	本システムの系統図を示して、
0:36:19	2-1。
0:36:23	この不便になって、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:25	山形
0:36:26	でいる部分、
0:36:28	開放に
0:36:30	等方性を変更する。
0:36:33	今回、
0:36:34	走時範囲
0:36:36	債権で示していると一緒に配管ではないこと。
0:36:41	ではない。
0:36:47	また次のページで参-8に、
0:36:51	それらが、
0:36:53	どんどん8-参考道具ということで、第3のニーズで一時
0:37:00	こちらも、
0:37:03	時項及び排気ラインの変更があります。
0:37:07	構造物
0:37:08	オフになります。
0:37:09	今回、
0:37:11	変更。
0:37:15	主要部材。
0:37:17	応答なく主要寸法の変更等も
0:37:29	はい委員長本文に戻ら買っていただきますが、
0:37:32	本編の半分の2ページ短プラ保持
0:37:38	現場
0:37:44	4番に
0:37:47	要するに、
0:37:49	まとめておりますので、
0:37:53	今後不具合対策の
0:37:56	に当たります、以下の対応を行うことを考えて、
0:38:02	まで届け済みの工事計画
0:38:04	両方の検討をしておりますが、こちらにつきましては、
0:38:09	原子炉等規制法の第43条の3の重大事故ん。
0:38:14	これ設計及び工事の結果、
0:38:17	大塩
0:38:19	この文言に対しまして、適用となるかということも、我々の判断を聞きかけた。
0:38:27	こちら、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:29	この情報部の中で、括弧書きに原子力規制委員会規則で、
0:38:34	源増え、
0:38:37	外筒というところ我々のほうで考えを
0:38:45	それでいろいろ規則の第 11 条第 2 項において、委員長。
0:38:53	両第 1 のから 200 掲げる変更の法人伴う変更または設計
0:38:59	広報誌に、
0:39:01	或いは品質マネジメントシステムの変更に伴う変更以外の変更とされていること。
0:39:08	今回実施します。これ在宅説明会のこちら別表第 1 におきましては、修理には該当するものの性能または強度に影響を及ぼすものではない。
0:39:23	からに該当しないと考えている。
0:39:25	また品質マネジメントシステム。
0:39:29	こちらが軽微な変更
0:39:32	考えて、
0:39:34	したがって工事計画の変更届に書かれて、
0:39:38	には該当しないと。
0:39:41	なお、先ほど添付資料の凡例説明させていただいておりますが、
0:39:47	工事計画
0:39:53	当社の経営上、
0:40:02	5 番につきましては今後の工程について液体
0:40:08	今後の主な工程を以下で考えた。
0:40:13	現場につきましては、2021 年の 9 月から現場のほうの対策会議に入りたいと考えておまして、まだ現状の対策をとらなければいけない設備の取外と考えておりますので、
0:40:30	それから、
0:40:32	対策工事の本、
0:40:39	使用前検査の方も検討する。
0:40:42	来年の 7 月には大勢の完了を目指して、
0:40:47	現場のほう着手していきたい。
0:40:51	次に 6 番に移ら
0:40:57	今回の
0:40:57	確認させていて、
0:41:01	今ほど説明
0:41:04	今回の不具合
0:41:08	変更届に書かれて、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:12	また添付書類の改定について、当然、
0:41:20	そういった値を欲しいというところが問題ないか、今回の面談で確認させていただければと思う。
0:41:29	はい、発電所アオヤギからの説明は以上となります。
0:41:35	はい、ありがとうございました。東京電力からの説明としては以上でございます。ご質問ご意見あればよろしく願いいたします。
0:41:45	規制庁のテルイ熱ありがとうございます。それでは、ご質問等ありましたらお願いします。
0:41:57	規制庁の斎藤です。
0:42:00	御説明いただきたいんですけども、
0:42:05	ポートの8月26日付の資料の添付資料の3に主要配管、
0:42:12	の名称等が平たいておりますけれども、
0:42:17	浅部費用参事で来るこの変更後の配管、全部で6種類ですかね、一つは日なので、五つありますけれども、これが
0:42:30	同じ資料の
0:42:33	添付資料3-8分の7、
0:42:37	のこの図面で言うところのどこのどこに該当するのかちょっと説明いただきたいんですけども。
0:42:47	はい、発電所のアオヤギでございます。説明。
0:42:51	要目表機械の名称とどこが言ってくるかというところの説明
0:42:57	こちらで8分の7の
0:43:01	資料で言います。
0:43:06	まず、アイフラッグ系の取合配管から期待感とございますが、
0:43:13	皆はですね今回もiPhoneはいいいんではないところになっておりますと、
0:43:30	申しわけ保証そう北東できないんでございまして会合範囲外でございます。
0:43:58	申し訳ありません。今即答ができなければ、工事計画の届け出をした際に、そこを色分けして説明した資料があるのですが、まさに本日用意してなくてですね。
0:44:09	ちょっと今この場での回答ができません。
0:44:17	フジマルでございます。よくから申し訳ございません。いただいたものの保管等としてアオヤギ申しましたが、過去にいろんなものがございまして、年版後に資料に改めて御提示するというのではいかがでしょうか。
0:44:36	では結構です
0:44:40	今回の
0:44:43	添付資料、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:48	添付資料 2ー
0:44:50	3 分の 2。
0:44:53	脳波のう。
0:44:55	③。
0:44:59	の均圧等を設置する。
0:45:04	ところの
0:45:07	なんですけども、先ほどの添付資料 3ー8 分の 7 でいくと。
0:45:12	どの辺りになるんでしょうか。
0:45:18	発電所アオヤギでございます。
0:45:21	均圧ポットの設置箇所というのが半分の長さページのどこに該当するかという御質問に対しましては、3 弁の 7 番の変更内容で示しております赤枠の右側の部分。
0:45:37	でございます。こちら所員と違う悪く見づらくて申し訳ないんですが、このちらちらやすいきっかけにTBW利水が出てくる配管、また地方がという間空間のベントと繋がってる部分になっておりまして、
0:45:55	こちらが合流してこの死角になってる部分が金額スポットを示しております。との契約ポットから右側の換気空調系弁当繋がったということを考えておりまして、コミュニティポットの
0:46:10	下側に対し、下側が分離性が流れて、
0:46:15	となっております。
0:46:16	誤開等が良いとなりますがよろしいでしょうか。
0:46:20	はい、了解しました。この 8 分の 7 の今進みいただいた右側の赤枠で囲っている部分ですけども、これ。
0:46:29	先ほどの要目表でいくところ学んで 88 分の 1 ページの表の中には、地表に上がっているもの、区分には該当しないということでよろしいですね。
0:46:43	発電者及び亀裂その通りでございます。はい、了解しました。
0:46:53	規制庁都立高か何かあります。
0:46:59	規制庁のイワサキ
0:47:01	あの
0:47:05	レベルスイッチ。
0:47:08	はい。
0:47:10	検知がしないっていうのがあったということで対処するためのしっかりした検知はできるというのは確認している。
0:47:30	はい、すいません、発電所のイノグチでございますけども、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:35	申し訳ございません。ちょっと今の質問をちょっと声が統計聞き取りづらかった ので、もう一度お話していただけますでしょうか。
0:47:48	えっとですねあのレベルスイッチなんですけれども、
0:47:52	いろいろ試してこの保健師はしませんっていうのはわかったんですけど、今回 変更して レベルスイッチでちゃんと
0:48:02	正式な検知ができるということは御確認されているんですか。
0:48:09	はい。
0:48:11	把イノグチでございますけれども、
0:48:13	こちらのメーカーさんの工場で洞道等の装置設備をつくりまして、
0:48:22	試験契約ございますので、この結果問題ないという回答を受けて、
0:48:28	なので、Cについては問題ないと。
0:48:31	わかりましたありがとうございます。
0:48:40	規制庁中村です。
0:48:46	資料1の添付資料(2)住民の皆さんにもなるんですけども、ここベント配管 網の④なんですけど。
0:48:57	先般のいろんな口径を上から役員に拡大するっていうことが記載してあるんで すか。
0:49:04	全国という主要し配管内部目にあつたんですけども、
0:49:12	個人が100に拡大することでしかいかん。
0:49:16	この設計そこっていう感じコピーが変わるかと思えますけども、そこは主配管 の敷設等々に影響がないんでしょうか。
0:49:30	発電所アオヤギでございます。今回ベント配管のほうを口径拡大を考えており ますが、まずこのベント配管がこの範囲スラブ機器冷言いますと、それぞれ目 的を果たすための主流が流れる配管ではないと考えていることから、
0:49:48	主配管には該当しないことを考えてございます。
0:49:56	あと、ベントの流体が非配管ではない地域もやっぱっていうのはやっぱり関係 が主要金融
0:50:11	タテバアオヤギでございます。1 受験法案については使用機器として、工事計 画届け出発生いただいておりますので、こちらの
0:50:23	主要機器の中でも先方と気体立っていただいている範囲はこのだつて実施がた まる範囲を出庫の主要機器の主たる機能がある範囲と考えてございまして、 そういった考えからベント配管については、
0:50:40	コンプラの工事計画届け出対象の範囲ではないと考えてございます。
0:50:47	規制庁のナカムラ量が下にございます。
0:50:53	やっぱ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:00	規制庁のテルイです。幾つか確認を取って、
0:51:05	それで、もともとの御懸念のところはあまり
0:51:10	確認してないので、ちょっと初歩的なところから緊張と。
0:51:14	また
0:51:18	耐震計算書のところで、重要度分類Bって書かれてますけど、これ利益を新じゃないってことでいいですよ、やっぱり雨のための確認ですけど。
0:51:35	はい。本配管につきましては、もう設計で検討してございますので、強震ではございません。
0:51:41	わかりました。それからあと、ここの
0:51:47	引きまわし配管等、
0:51:50	機器ですけど、これ機器クラスは、
0:52:00	特にサイトウが
0:52:03	アオヤギでございます。きっかけラフというのは、強度ですね、強度側、
0:52:11	ちょうどクラス3カ年
0:52:17	100名のクラスになります。役目で言いますと、クラス3でございますクラス3です。
0:52:25	わかりました。
0:52:30	洞道
0:52:38	添付の3-5から3-5の
0:52:43	名側の耐震計算の文面なんというちょっと
0:52:49	これは、
0:52:51	重心位置が変わっているの日程は変わっていくそれは、
0:53:00	計装ラインとかSuicaとカスタムで変わったんだと思うんですけど。
0:53:05	1通の下端の重心位置も関わっているような気がするんですけど、これもこの
0:53:16	掃気高角追加した影響で変わってるってことです。
0:53:22	発電所アオヤギでございます。HII片側もう影響につきましては、かなりの技術等の会員番号によるところが大きいです。
0:53:33	来年秋効果も変更になりますので、建屋の影響もございますが、株側のスライドゲート受振1階部分のゲートの変更も実施しますのでそちらを加味した変更となっております。
0:53:48	そういうことですか。わかりました。
0:53:51	どうぞ。
0:53:53	物販です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:55	あとませんが、何個か確認なんですけど、別表 1 の周囲の話は理解をしたんですけれども、
0:54:04	まず工事計画の変更対象になるかどうかという基本的系方針の変更に当たるか当たらないかということであろうと耐震設計の基本方針のことが書かれてるんですけど、廃棄。
0:54:18	施設の基本設計更新は。
0:54:21	考慮かかわらないかっていうのは特に書かれてるんですけどその点はどうなってますでしょうか。
0:54:29	発電所のアオヤギでございます。はい。確かに資料上期待はございませんが、基本の方針につきましても、届け出してる内容から変わるものではないと考えてございます。
0:54:41	これも当時の届け出には基本的保守を書かれているかと思うんですけどそこからの変更がないっていうことで、
0:54:52	はいその通りでございます。報告ありますと、それからここで、あとこの品質マネジメントシステムの変更を伴わないということが書いてあるんですけど、もう
0:55:04	また届け出された当時から考えると、昨年の
0:55:12	品管規則の改正でいろいろとの要求自体が変わっていることにはなるんですけど、そういう意味でその当時の届け出からば
0:55:22	若干変わってるんじゃないかなと思うんですけどそれは選出マネジメントシステムの変更を伴わないということで×となっているのかっていうの時にしてください。
0:55:43	徹底。
0:55:45	ペーシアオヤギでございます。プリニー管理の範囲につきましては、
0:55:53	はい。
0:55:59	確かに。
0:56:02	現状の品質管理に照らし合わせるってなると完全に一致でなってた資金負荷の届け出をした当時から今に至るまで本格的にリバイス高まっているようなものも当然ございますので、
0:56:18	届け出した内容が現状のものと完全一致してるかと、現状の程度と。
0:56:24	今ルール等関連位置しているかと言われると。
0:56:29	前ここまで
0:56:30	完全にクリーニングない値ではないと、確かに思います。
0:56:37	そうですね。
0:56:47	要望がございませんので、特に本社側からフジマルでございます。移動してはですねあの 4 倍に申しました通りで、体系として生まれのシステムとしてはあ

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	と届ける当時から変わってるところはおっしゃる通りについてあるかと思っております。
0:57:03	ただ、街道交換の機会がない状況でそれに直接的に
0:57:10	今回バルク的な原因となって前前後となってくるものではございませんみても我々としては、改めて今回の変更の手続きというふうには考えておりましたように思います。
0:57:30	9. のテリイですお考えはわかりますし、
0:57:37	ちょっと
0:57:39	あえてちょっと質問させていただいたところはあるんですけども、もう一方でその当時の届け出のときと、まさに長期の場合は7号ですけど新規事項には1回にしているところで
0:57:54	この三条改正に伴って日QMSの記載内容自体も、おそらく、もう当時の届け出からはかなりがらっと変わってるとい状態になっているというのは私も理解をしていて、
0:58:10	その上で今書くべきQMSに照らして、何かそういう傾向があるのかないのかっていうとおそらくまだ今の御説明からすると内んじゃないかなと、要は今の
0:58:27	今の体系での本文本文でのQMSとして書くべき内容、
0:58:33	到底ラッシュ時に変更があるかないかっていう観点でいうと、そこはどうなんですよ。今その届け出られてるものに記載されているQMS、
0:58:45	からの
0:58:48	意味の舗装の記載事項の変更というかは今の体系でのこの提出すべきQMSですね、三田対して、その変更があるかないかっていうと、その辺はどうでしょうか。
0:59:08	グループフジマルでございます。観点としては二つかなと思ってまして、おっしゃる通り7号機の新規性基準適合かなりそのあんまり性設備だったり、新規性基準に適合するための観点と、あと現場に申しますと、その人権が程度、また検査の独立性、
0:59:27	何かの部分があるのかなと思います。本当今回向かい方向につきましては、その筆跡によって密封するものではないということで、これは真剣な限度で要求されるようなまさに独立性管理部の体制、これはFPのまだないと。
0:59:45	いうところでございますので、今回改めて、地域するような内容にはなるんじゃないかというようなすいません。現状の考えるところでございます。以上です。
0:59:54	学級長のテリイです。わかりました。それから最後、もう一方でですけど、一応現行の現行の制度下においては工事の方法も、工事計画の最初になるんですけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:13	そのために、それを推進するための手続きは要らないっていうのは理解理解してる上で、ほ工事の方法の平行もないということによろしい。
1:00:30	特に外部に丸でございます。ご存知の通り、思っております。理由としましては、現状があるから、申請させていただいている工事の方法は7号機の被規制に関するものでございますけれども、今回の法の中で、その特殊な修理の工事っていうものを用いているものがございません。
1:00:50	なので、7号機の中でやっていただけるものからナローとしてわかるものはないと考えておりますので、変更しないものというふうに考えております。以上です。
1:01:02	規制庁の服部です。わかりました。そういうことでちょっと今の資料ですとですね先ほど言った基本設計方針の話であるとか、またちょっと工事の方法かどうか、けど、工事の方法も含めてですね、今現状のこの
1:01:18	別表第1位に当たるか当たらないかって言う意味で言うと、
1:01:26	何か基本設計工数とか広報時の方法に変更にがあるのかないのかっていうのも一応今御説明聞いてないというのは理解をしたんですけど、一応資料上は明確にしといていただけますか。
1:01:42	このレベルフジマルでございます。承知いたしました。
1:01:47	はい、消えちゃってるんですよ。私からは、情報提供するというと他何かありますでしょうか。
1:01:58	よろしいですね。
1:02:00	はい。なければ、本日の面談はこれで終了したいと思います。ありがとうございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。